

徳山ダムに係る導水路検討会（第6回） 議事要旨

日 時：平成18年8月30日（水）

場 所：（独）水資源機構中部支社 4階会議室

出席者：国土交通省中部地方整備局河川部長（座長）

岐阜県県土整備部長

愛知県地域振興部長（代理：水資源監）

愛知県建設部長（代理：河川課長）

愛知県企業庁水道部長

三重県政策部長

三重県県土整備部長

名古屋市上水道局技術本部長

配付資料：

次第

上下流ルート案の比較について

確認事項

既往成果を基に上流ルート案と下流ルート案の効果及び経済性を比較したところ、上流ルート案が優位と認められたことから、引き続き上流ルート案にて実施計画調査を進め、コスト縮減の観点を含めた事業計画(案)の作成に向けた具体的な検討を早期に進めていくことを確認した。

徳山ダムに係る導水路検討会（第6回）

日時：平成18年8月30日（水）14:30～16:30

場所：独立行政法人水資源機構中部支社4階会議室

議事次第

- 1．開会
 - 2．挨拶
 - 3．議事
 - 1) 実施計画調査等の状況等について
 - 4．閉会
-

配付資料一覧

- 1．議事次第
 - 2．出席者名簿
 - 3．上下流ルート案の比較について
- ・・・資料1

「徳山ダムに係る導水路検討会（第6回）」

出席者名簿

日時：平成18年8月30日(水) 14:30～16:30

場所：独立行政法人水資源機構4階会議室

会議出席者

機 関 名	部 局 名	役 職	出 席 者	
			役 職	氏 名
中部地方整備局	河川部	部長	部長	細見 寛
		河川調査官	河川調査官	浅野 和広
岐阜県	県土整備部	部長	部長	奥田 邦夫
愛知県	地域振興部	部長	水資源監	早川 吉夫
	建設部	部長	技監	横山 敦
	企業庁水道部	部長	部長	三輪 彰一
三重県	政策部	部長	部長	村林 守
	県土整備部	部長	部長	植田 十志夫
名古屋市	上下水道局技術本部	本部長	本部長	遠山 周二

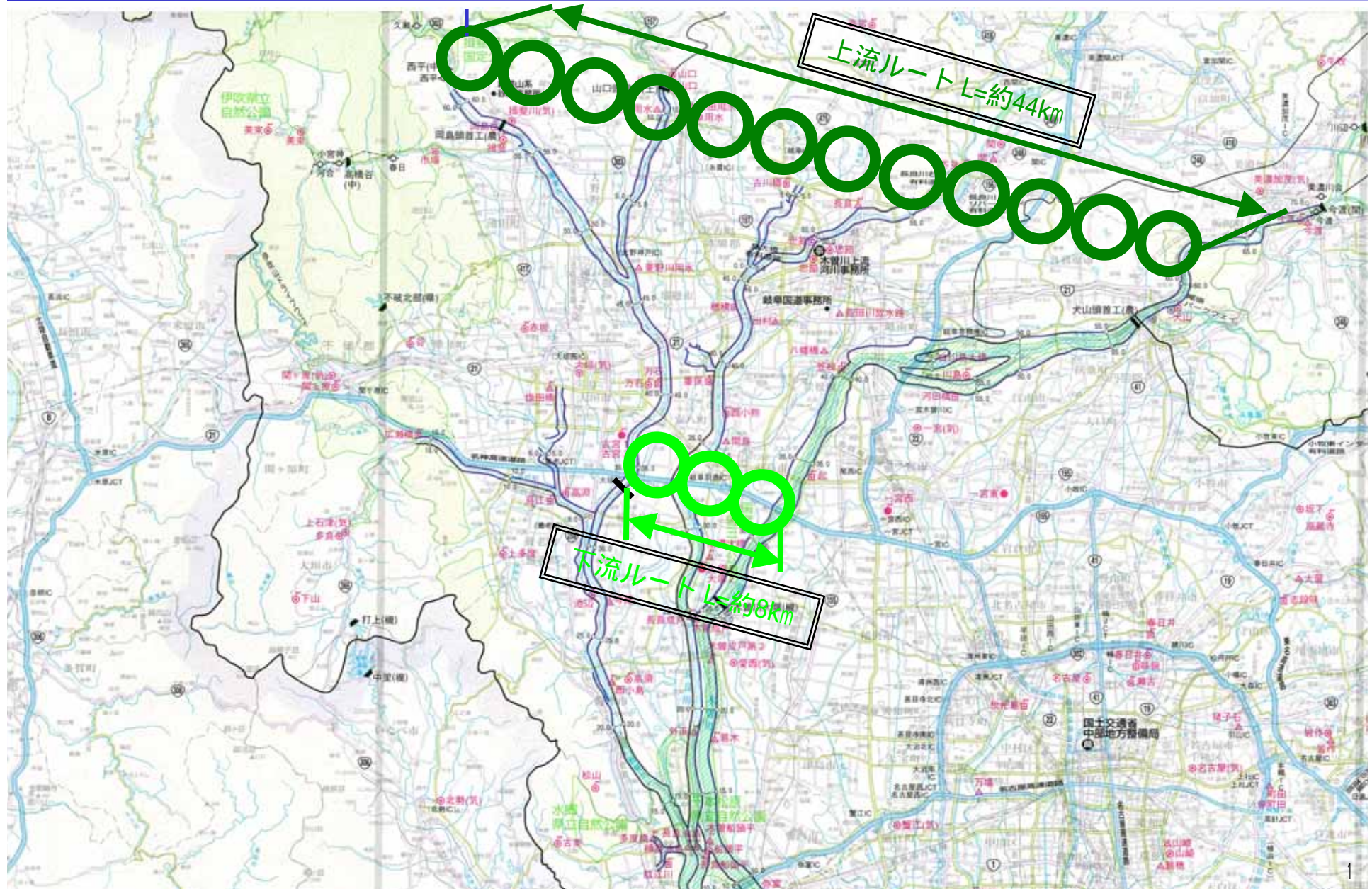
上下流ルート案の比較について

国土交通省中部地方整備局河川部

導水ルート位置図

上流ルート案は山岳トンネル主体

下流ルート案はシールドトンネル主体

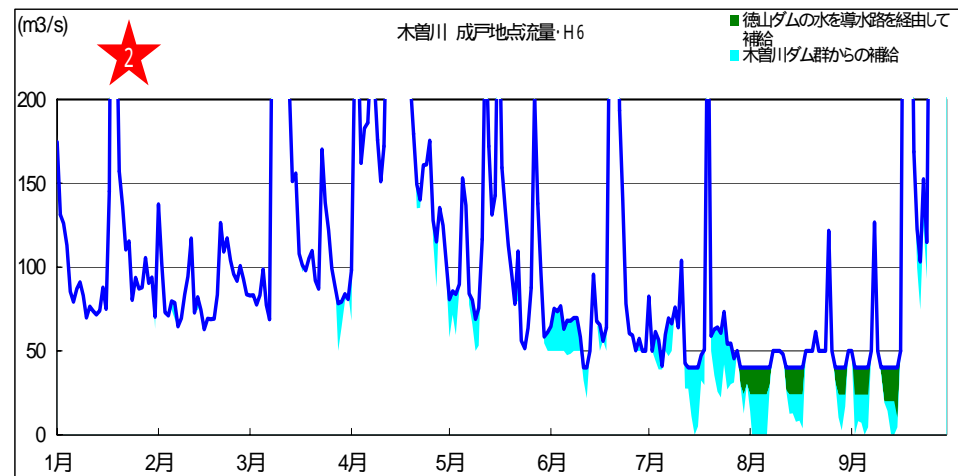
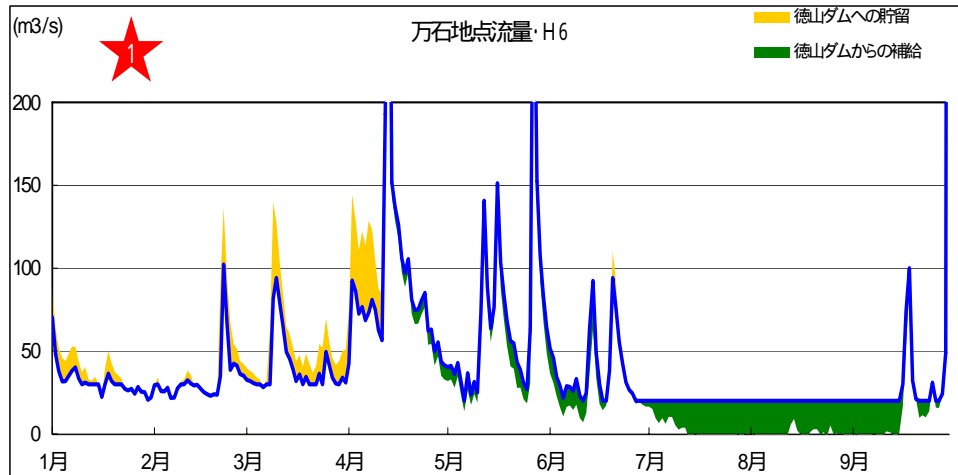


導水ルート比較

	上 流 案	下 流 案
緊急水の補給 (河川環境の改善効果)	<p>改善区間 木曽川 約60km 長良川 約60km</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アユ等の産卵区域(木曽、長良川の中流域) ・ヤマトシジミ等の生息区域(木曽、長良川の下流域) ・長良川の鵜飼 ・河川環境楽園等からの河川景観 	<p>改善区間 木曽川 約30km 長良川 約30km</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトシジミ等の生息区域(木曽、長良川の下流域)
新規利水補給	<p>取水可能地点：犬山頭首工直上流 木曽川大堰直上流</p> <p>水供給範囲：広い</p> <p>緊急時の効果：水源の多様化 節水緩和</p>	<p>取水可能地点：木曽川大堰直上流</p> <p>水供給範囲：限定的</p> <p>緊急時の効果：限定的</p>
経済性	<p>延長：約4.4km</p> <p>事業費：約900億円</p> <p>管理費：約1.4億円(年平均)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然流下のためポンプ及びこれの運転経費が不要 	<p>延長：約8km</p> <p>事業費：約960億円</p> <p>管理費：約5.3億円(年平均)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ設備の更新及び運転経費が必要 ・取水堰が必要
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・取水堰の新設にあたっての調整に時間を要する。

徳山ダム・木曽川水系連絡導水路による河川流量の確保

最低限万石20 m³/s、成戸40 m³/sの流量を確保します

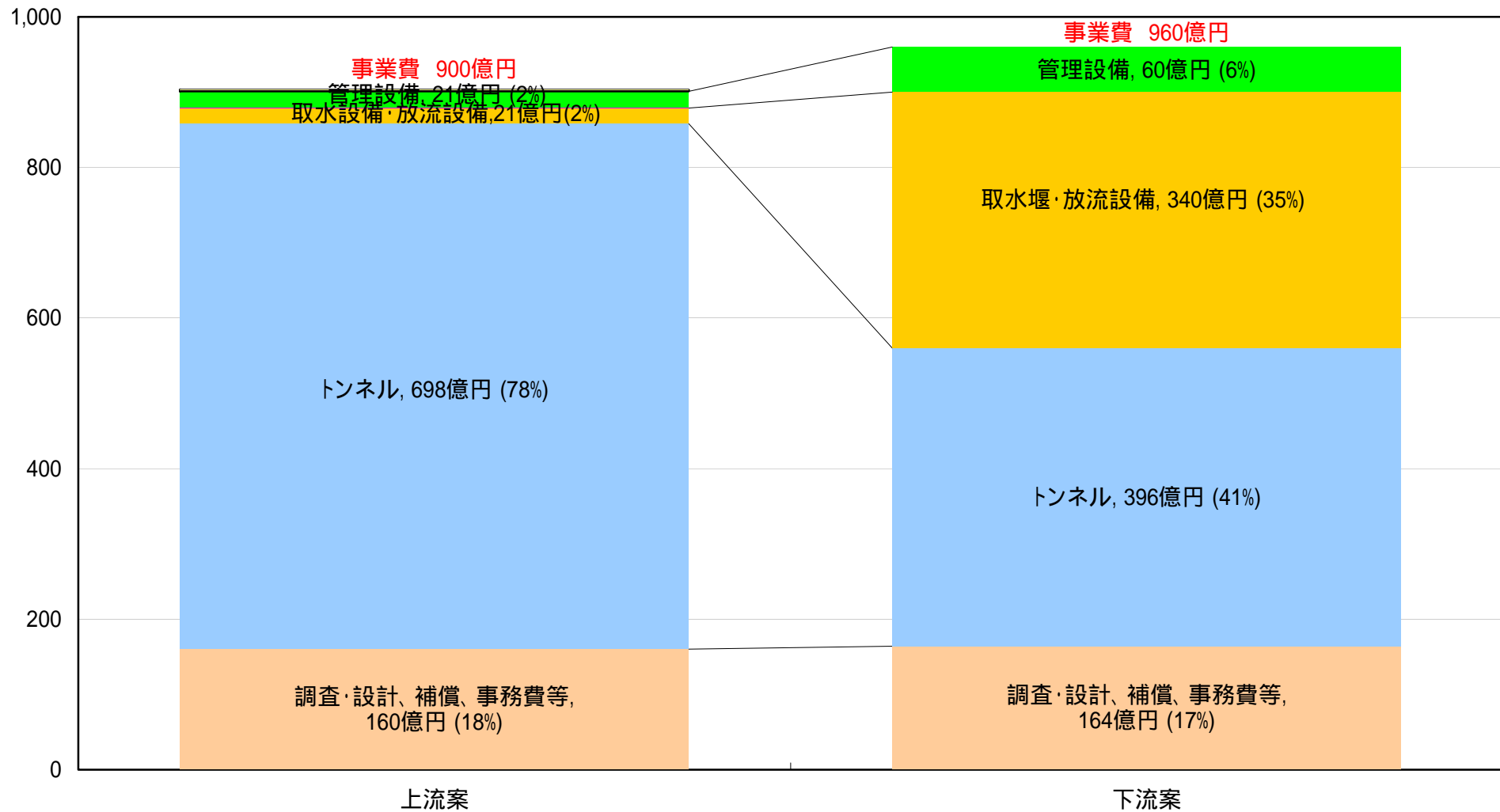


導水路事業費比較

事業費は上流ルート案が有利。

下流ルート案ではポンプの運転経費が更に必要。

木曽川水系連絡導水路 事業費比較



()内は、各ルート毎の全体事業費に対する項目の割合。